

# 会報 長事研

対馬市立東部中学校内  
発行責任者 上戸 健  
2013(H25)年3月21日発行

本年度も3月を迎え1年間を締めくくる時期となりました。長事研も2月15日(金)に本年度最後となる第2回理事会評議員会が開催されました。今回は、11月に開催された長事研セミナーの総括と、来年度に向けて活動方針が話し合われました。そして、その中で、2015(H27)年開催予定の全事研熊本大会に向けて報告書の作成等活動の中心となる特別委員会の概要について報告がありました。また、全事研関係では、2月21日(木)に東京都大田区の産業プラザで評議員会が開催されました。長事研からは、上戸会長と森副会長の2名が参加しました。その翌日の22日には、同じく大田区の区民ホールで全事研セミナーが開催されました。そのセミナーには長崎県から27名の参加者がありました。

今号は、長事研・全事研理事会の概要と全事研セミナーの様子を参加者の感想も交えながらお知らせします。

## 《第2回長事研理事会評議員会報告》

### 議題

#### ○長事研セミナーについて

- ・総括：初めて討論会を行ったことは、大変有意義であったし、また、各方面から注目もされていた。内容については、評価できるのではないだろうか。市の監査等重なったため参加者が少なかったのは残念だ。会員の9割の参加体制を目指すと共に、魅力あるセミナーにしていく努力が一層必要となっている。今後も、全国大会に向けて位置づけるようなセミナーにしたい。
- ・意見等

財政の面：施設使用料を減免してもらえる施設の利用  
長崎市郊外が施設使用料も安いのでは

全体について：マンネリ化の感がある。

#### ・アンケート結果

期日について：適当 88.8%、日程について：適当 89.8%

場所について：県南 56.8% 県北 12.5% 県央 14.8%  
持ち回り 11.4%

講演について：興味があつた 73.7% 普通 15.9%  
そうでもなかった 5.7%

ディスカッションについて：興味があつた 72.7%  
普通 19.4% そうでもない 3.4%

セミナーについて：満足 44.3% やや満足 38.6%  
どちらでも 10.2%

#### ・企画して欲しい内容、要望、感想

学校現場での人間関係のトラブルとその対処法  
教員の負担軽減、環境問題の講演、日渡円氏の講演  
ディスカッションがよかった 研究団体の一本化  
事務職員の世代交代 未来像が見えなかった

#### ○来年度のセミナー、総会のあり方について

来年度は、総会とセミナーを同日に開催することが、改めて確認されました。開催日程について6月中を中心に計画を進めますが、7月に開催することもありえるとの考えが示されました。

セミナーの内容については、講演を中心に計画を進めることと、その内容については、前例にとらわれることなく各方面にお願いしたいとの考えが示されました。また、理事の方々からは、多くの積極的な意見が出されました。

#### ○全事研熊本大会に向けての特別委員会設置について

本年度の総会で承認されていた、全事研熊本大会に向けて特別委員会の設置が正式に発表されました。特別委員会の委員長には佐世保支部 森清信現副会長が就任することになりました。特別委員会の詳細については、来年度第1回理事会評議員会で発表する予定です。

#### 特別委員会について

会長：熊本大会には長崎県からも会員外の方も多く参加されることと思います。長事研の存在感を見せる大きな機会となることでしょうか。組織拡大につなげていきたい。

森委員長：特別委員会は支部をまたがる活動になると思います。各支部の協力をお願いします。

#### ○その他

##### ・長事研ホームページについて

現在今まで使っていたプロバイダーの都合で使用できなくなっています。再開できるようにしたい。

## 《全事研2月評議員会等報告》

### ○評議員会議題

H24年度第44回全国研究大会(茨城大会)決算報告

H24年度補正予算について

H25年度暫定予算について

H25年度第45回全国研究大会(石川大会)について

茨城大会については、当初参加者を2000名を予定して、予算を立てていましたが、その予定を大きく上回る2443名の参加者があり成功裡に終わったとの報告がありました。そして、その状況を踏まえた決算額の報告がありました。

本年度補正予算については、文科省からの研究委託金の交付が精算払いとなり年度をまたいで交付されることになったために補正予算を立てることになりました。

来年度8月7日～9日まで開催される石川大会は、参加者を2000名と想定されています。また、同じ時期に金沢市で北陸地区の中学生の体育大会が開催される予定です。そのため、宿泊施設等大変混み合うことが予想

されるということです。参加申込については、早めに申込をしていただくよう大会本部からお願いがありました。  
また、各議案については、満場一致で原案どおり承認されました。

○実務報告

「地域とともにある学校づくり」を推進する学校組織運営の構築  
長浜市立湯田小学校 主任事務主査 松田 幸夫 氏

《全事研セミナー》

○文部科学省行政説明

初等中等教育局財政課長 伯井 美德 氏  
政権が変わり、そのために施策も大きく変わってきている様子を交えながら、緊急経済対策に伴う本年度の補正予算と来年度の予算案についての説明がありました。

- H25年度文教関係予算額  
4兆661億円 対前年度額 △297億円 (△0.7%)
- H25年度義教費予算額  
1兆4899億円 (対前年度額 △699億円)
  - ・教職員の定数改善 1,400人 (29億円)
    - いじめ問題対応等 400人
    - 特別支援教育の支援 600人
    - 小学校における専科指導の充実 400人
- ・給与臨時特例法を踏まえた人件費分の削減  
△631億円

その他  
理数教育の推進のために、理振の補助  
163億円 (内24補正予算100億円)  
全国学力・学習状況調査の悉皆化 54億円  
道徳教育の充実 (心のノートの配布) 8億円

○講義「学校マネジメントの展開と学校事務」

九州大学大学院 准教授 元兼正浩氏  
講演は、自分は15年前から事務職員の研修に関わってきたが、当時の閉塞感が、現在果たして解消したのか、と先生の厳しい指摘から始まりました。どうして私(事務職員)が、学校にいるか。その存在理由(プレゼンス)を考えることが重要である、との指摘がありました。

講演の中心は、学校マネジメントがなぜ必要となったか、学校マネジメントを進める中で重要な地域や保護者との繋がり方、そして、そのような中での学校事務職員のプレゼンスについて の3点について、ワークシートを使いながら分かりやすく、ユーモアを交えながら講演が進められました。

また、「よい学校の条件とは、課題が無い学校ではなく、課題を教職員で共有できている組織である。これがマネジメントの第一歩である。」と言う先生の言葉に、先生の教育に対する熱い思いと、先生の見識の高さに感銘を受けました。大変興味深い講演でした。

\*紙面の都合で講演のすべてを、お知らせできないのが残念ですが、次に発行される「全事研会報」で詳細は記載されるとのことです。是非、ご覧ください。

○参加者の感想

・約8年ぶりに全事研セミナーへ参加しました。  
会場となった大田区民ホールへ向かう長蛇の列を目の当たりにして、このセミナーの規模の大きさに圧倒されつつ会場へ入りました。

「文部科学省行政説明」では、文科省予算についての説明がありました。文科省の中核にいる方から予算編成について直接話を聞ける機会はこのセミナーだけなので、この説明を聞くだけでも参加する価値があると思いつつ話を聞きました。

午後からの講義Ⅱ「これからの学校の在り方と学校経営戦略」では、九州大学大学院の元兼正浩准教授の講義でした。午後の眠気を誘う時間帯でしたが、ワークシートを活用しながらの軽快な講義で、笑いの中にも「私たちはなんのためにここにいるのか?」という学校事務職員の命題とも言えるテーマについて考えることが出来、有意義な講義でした。

シンポジウム「これからの学校の在り方と学校経営戦略」と題して、元兼氏、春日市教委学校教育部長 工藤一徳氏、横浜市立塩田小学校長 佐藤隆章氏の3名のパネリストの方々によって、各々の立場から、これからの学校の在り方について語っていただきました。その中で、春日市で実践されている「地域とともにある学校」についての紹介がありました。学校が活性化することにより地域も活性化していくという話があり、学校現場や地域住民に密着した教育行政の大切さ、その中での事務職員の役割の重要性などを改めて感じたりしました。

このようにかなり盛りだくさんの内容で、充実した一日となりました。まだまだ伝えきれない事が沢山あります。来年はぜひ会員の皆様が自分の目や耳で、この全事研セミナーを経験されてみて下さい。

「百聞は一見に如かず」ですよ

佐世保支部 女性

・講演は、昨年度の県北地区全員研修会での講演と同じ、九州大学の元兼先生の講演でしたが、あらためて考えさせられるお話で、たいへん勉強になりました。引き続きのシンポジウムでも、元兼先生のお話・春日市教委の市教委事務局と学校事務職員の繋がり・独自の取組をする学校での経営を潮田小の佐藤校長先生からと、様々な方面からのお話が聞けて良かったです。

佐世保支部 女性



<会報連絡先>

<会報連絡先>長与町立長与小学校：宮崎賢一

TEL・FAX 095-883-3167